

講義形式	アクティブラーニング & グループワーク		教室	首里公民館	
講義名	英語で学ぶドラッカー経営学		登録者	社会人	
講義言語	英語	開講所属	国際地域創造学部	期間	後学期
定員	20名	曜日時限	土曜日・13時～16時10分	初回授業	10/20
単位数	2単位	担当教員	牛窪 潔		

■授業内容と方法

本授業では、前学期で学んだ「英語で学ぶマクロ環境分析」を踏まえ、企業が21世紀の経済社会環境にどのように適応し、新しい市場を創造していけばよいのかを、ドラッカー経営学の考え方や原則を学びながら、英語で考察していく。授業方法は、テキストに記載されているその日の単元の概要を英語で解説しながら、教員と学生との双方向的な対話(Q&A方式)を取り入れ、学生の英語による対話能力の向上をはかる。さらに、グループワーク方式を取り入れ、各テーマに対して学生同士が、英語で考え、議論し、発表する機会を設ける。

■達成目標

1. 毎回最低2時間の予習・復習を継続的に行い、自主的かつ意欲的に授業に参加するように目標管理を実施することができる。【自律性】
2. チームメイトに迷惑を及ぼす欠席・遅刻をせず皆出席する。やむを得ず欠席・遅刻する場合は担当教員に必ず連絡する。【協調性】
3. グローバルなマネジメントのフレームワークで、経営現象を把握・理解することができる。【地域・国際性】
4. 課題やテーマに対する自身の意見を英語で発信し、かつ他人の意見を素直に傾聴することができる。
【コミュニケーションスキル】
5. 課題やテーマを紐解く際に必要な情報を収集・考察・活用することができる。【情報リテラシー】
6. 課題やテーマを紐解く際に、問題を予測し、原因を究明し、対策を考案することができる。【問題解決力】
7. ドラッカー経営学を学習する上で必要なキーワード及びキーフレーズを英語と日本語で理解することができる。【専門性】

■評価基準と評価方法（下記数字番号は、達成目標の数字番号と対応しています）

1. 予習・復習の継続的学習と目標管理の実施
 - ・自らが設定した学習時間(予習・復習)を遵守し継続的な学習をしているか。
 - ・教員の質問に対して、自分の意見を自分の言葉で率直に論じているか。
2. 授業へ積極的に参加しようとする態度と姿勢
 - ・欠席や遅刻をすることによってクラスメイトに迷惑をかけていないか。
3. 授業へ積極的に参加しようとする態度と姿勢
 - ・グローバルな視点で生起する様々な経営現象を捉えているか。
4. 授業中の質疑応答への参加度
 - ・教員からの質問を真剣に聞き、かつクラスメイトの声に真剣に耳を傾け、自分の意見を英語で表現する努力をしているか。
5. レポート
 - ・テーマに対する適切な情報や知識を活かし、自身のオリジナリティを論理的に表現しているか。
6. 授業へ積極的に参加しようとする態度と姿勢
 - ・毎回の講義のテーマに対する自身の回答が問題解決技法に準じた内容になっているか。
7. 授業へ積極的に参加しようとする態度と姿勢。

成績は、出席(7割：質疑応答とグループワークの評価を含む)、レポート2回(3割)で評価する。
クイズは実施しません。
なお、出席点は、出席(5点×14回)、遅刻(3点)、届出欠席(2点)、無断欠席(0点)とする。
授業の1/3を欠席すると単位を与えない。

■履修条件

英語で学ぶマクロ環境分析の単位を取得していることが望ましい。
英検2級以上相当の英語力をもっていることが望ましい。
一番求めている条件は やる気と情熱

■授業計画

1. (10/20) Orientation, English exercise
2. (10/20) What Is Management?
3. (11/10) What Is a Business Purpose?
4. (11/10) What Are Business Functions?
5. (11/24) The Sears Story 1
6. (11/24) The Sears Story 2
7. (12/8) Management by Objectives and Self-Control
8. (12/8) The Spirit of Organization, Chief Executive and Board, Developing Managers
9. (12/22) The Ford Story
10. (12/22) Business Organizations by Barnard, Simon and Drucker
11. (1/26) The IBM Story
12. (1/26) Human Resource Management
13. (2/9) Japanese Management : Strength of Japanese Company
14. (2/9) Management of Co-Active Coaching

■事前・事後学習

次週のチャプターを必ず予習(2時間)してください。なお、テキストに記されている各「問い」に対する「答え」を予め考えてきて下さい。なお、復習(1時間)も必ずしてください。英語力は継続的な学習なしに習得できません。

■教科書

自作のテキスト。

■参考書

Drucker. P. F., *The Practice of Management*, New York, 1954. (ドラッカー『現代の経営』ダイヤモンド社。) 日本経済新聞

■備考(メッセージ)

自分の夢ある将来を信じ、一つひとつの精神で前に進みましょう

■オフィスアワー

土曜日の授業後

■メールアドレス

ushikubo@tm.u-ryukyu.ac.jp

■URL

<http://www.management.tm.u-ryukyu.ac.jp/>